

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2024年2月19日
作成 高齢者支援センター	町田第2
作成者	小林真人

1.開催日時	2024.1.29	(月)	19:00	~	20:30	
2.会場	特別養護老人ホーム commons1階ひろば+オンライン					
3.主催センター	町田1	・	町田2	・	町田3	
4.参加人数	20名					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	7人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	8人	(うち、医師 1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	2人	
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input type="checkbox"/> 行政	人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(昭和薬科大 2人)				
6.開催テーマ	フレイル予防啓発リーフレットの活用に向けて					
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>約3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する、外出自粛や地域活動の縮小、また社会生活が回復する段階で現在進行しているフレイルについて、フレイルについての正しい理解・フレイル予防の啓発を強化する必要がある。</p> <p>一部の健康増進への関心層のみが参加する、あるいはハイリスク高齢者のみが対象・参加ではなく、地域の誰もがフレイルを知り自ら予防や支援に取り組むことができる地域社会全体へのヘルスプロモーション(人々が自らの健康をコントロールし改善できるようにするプロセス)が必要である。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フレイル」についての重要性を、市民に広く周知するために必要な機会構築が充分になされていない。 ・高齢者本人だけではなく、家族も含めて繰り返し理解と促進が充分にされていない。 ・本人の状態に応じた取り組みを行うためには、多職種が正しい知識を身につけ、連携して取り組むことが充分にされていない。 ・社会参加を促進する為の地域との協働が充分にされていない。 					
8.会議の内容	<p>前回2023.11.27の会議に続き、以下の内容について検討を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023.2月16日(金)開催の拡大会議の企画について検討を行う。 <p>町田第1・2・3高齢者支援センターの各会場30名程度で開催オンラインで接続予定。(感染症予防対策と各センターでの繋がり、連携協働をより意識できるように検討)『地域で高齢者自らがフレイル予防に取り組み、健康増進を図っていく必要がある』⇒スローガン【ストップフレイル！毎日えがお】で前回決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議メンバーで2023.12~2024.1の2か月間で進めているトライアル事例を共有、効果と課題・普及方法について検討する。 <p>会議参加に事前にトライアル共有シートの作成まで依頼。当日持ち寄られた6事例を共有。特に持ち時間を定めずに発表したが1事例10分程度の発表内容だった。共通課題として提起されたのが「各種プログラムの使い方」、「取組の継続性への働きかけ」であった。</p>					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を手にした地域住民が取り組みやすい、働きかける専門職が伝えやすいフレイル予防プログラムのメニュー開発。 ・専門職からフレイル予防の普及啓発を発信する取り組みの共有や地域フレイルの予防に関する意見交換及び課題として挙げられている「各種プログラムの使い方」、「取組の継続性への働きかけ」についても検討を行う為、2024年2月16日(金)町田圏域地域ケア推進会議(拡大)を開催する。 					
10.その他						

医療と介護の連携支援センター 確認日

2月13日